

# 2015 年度春合宿について

快速アクテイ

2016年3月に、春合宿を行いました。行先は、東北・北海道で、6泊7日の長旅でした。この春合宿はとて自由度高く、みなさまさまざまな行程を立てていました。

## 1 日目

1 日目は、東北本線列車内で集合する形をとり、(東京) — **東北本線** — 仙台 (ここまでは途中の乗り継ぎは省略しました) — **東北本線** — 岩切 — **利府支線** — 利府 — 岩切 — 仙台 — **仙山線** — 山形 という行程でした。東北本線を乗り継ぎ、仙台へ行って、そこから山形へ行くものでしたが、集合列車に乗る前の列車にある部員が荷物を忘れる事案が発生。荷物を忘れた部員はほかの部員と切符を共用しており、荷物を忘れてしまった部員と一緒に忘れた荷物を待つことになりました。その後、新幹線で追いつき行程には混乱は招きませんでした。



## 2 日目

2 日目は、山形 — **左沢線** — 左沢 — 山形 — **奥羽本線** — 米沢 — **米坂線** — 坂町 — **羽越本線** — 村上 — **羽越本線** — 余目 — **陸羽西線** — 新庄 と辿っていきました。この日は、途中から山形鉄道フラワー長井線の旅に出るものもいました。私は、この日に初めて E129 系なるものを目にしました。

## 3 日目

3 日目は、新庄 — **陸羽東線** — 鳴子温泉 — 小牛田 — **東北本線** — ノ関 — **大船渡線** — 気仙沼 — **大船渡線 BRT** — 盛 — **三陸鉄道南リアス線** — 釜石 — **釜石線** — 花巻 — **東北本線** — 盛岡 という行程でした。この日の最初の列車は 06:01 とちょっと早く、新庄駅には霧が発生しました。この日なのですが、私はホテルの部屋に防寒具等を忘れるという……。この日は別の行程を予定していた部員が我々より遅く出る方だったので、その方にとっておいてもらい、盛岡集合時にももらいました。



## 4 日目

4 日目は、盛岡 — **花輪線** — 大館 — **奥羽本線** — 弘前 — 青森 — **青い森鉄道** — 野辺地 — **大湊**

線—大湊—野辺地—青森—津軽線・海峡線—木古内—江差線—函館と辿っていきました。この日は、大館での乗り換え時間が~~タ~~とでも長いことを利用して、小坂鉄道の廃線跡などを見ていきました。そこにはまだレールが残っていて、最近まで走っていたことを感じさせられました。また、この時は北海道新幹線が開業する前なので、青森からスーパー白鳥に乗って北海道へ上陸しました。



#### 5 日目

5 日目からは、いよいよ北海道の旅です。

函館—函館本線—大沼—砂原支線—森—長万部—小樽—札幌 という順に函館本線を辿っていきました。この行程自体は私が乗ったもので、大半は、大沼から乗り換えず、そのまま森へ向かいました。砂原支線のローカル線らしさがとてもよく、あまり乗客がいなかったのが地方の鉄道らしいともいえるような光景でした。長万部では、名物駅弁、かにめしを購入するなど、一つの路線とはいえ、面白い 1 日でした。

#### 6 日目

6 日目は、札幌—札幌線—石狩沼田—新十津川—タクシー—滝川—函館本線—深川—旭川—宗谷本線—名寄—稚内という行程でした。路線が少なく、移動距離がそうでもないと思ってしまう方がいるかもしれませんが、宗谷本線だけで 260 キロ近く移動しており、この一日で 400 キロ近く移動しています。一回に乗っている時間が長いいためか、大体の部員はどこかしらで寝てました。ちなみに 260 キロというと、東京から東海道線で、浜松駅あたりまでいきます。

#### 7 日目

7 日目は、稚内—宗谷本線—幌延—沿岸バス—留萌（留萌市立病院）—沿岸バス—増毛駅—沿岸バス—留萌—留萌本線—深川—函館本線—旭川—富良野線—富良野 という行程でした。幌延から留萌は、旧国鉄羽幌線の廃線跡沿いを走るもので、留萌から増毛は、当時運休となっていたため、バスを利用しました。バスでの移動時間は、4 時間超というとても長いものでした。増毛では観光中に旧増毛小学校を見つけました。古くて大きく、圧倒されました。そしてその後、富良野にて解散となりました。その後私は北海道を周遊するなどしました。

